

摂南大学の視察研修受け入れ

大阪の摂南大学より12月25日に「特別指定区域制度」の視察研修をしたいとの申し入れが加西市役所の担当課を通じてあり、受け入れました。当日、大学より2人、兵庫県より担当職員1人、加西市より担当職員3人が出席しました。宇仁郷まちづくり協議会は、井上定住促進部会長を中心に4人で対応しました。

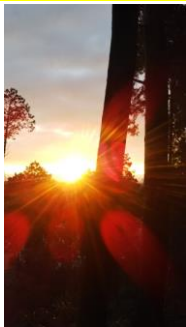
まず、スライドで特別指定区域に近年建築された20戸の住宅を見てもらいました。その後大学側からの質問に順次答えていき、例えば、「特別指定区域の指定に動かされた背景をお聞かせください」という質問に対しては「自分の土地があっても、市街化調整区域等の規制があって子どもの家さえ建築できなかったため、何とかしてこの規制緩和を図れないかと加西市や県に相談をしたところ“特別指定区域制度”を導入すれば3世代住宅等が建設できることがわかり、この制度導入に動きました。その後約9年が経過しますが、どこの町でも特別指定区域制度を利用した3世代住宅が建築されました」と答えました。一方協議会側から県の担当者に「なぜ宇仁の視察なのですか？」との質問には「この制度を宇仁のように上手に活用している所は他にありませんから」との答えが返ってきました。

あらためて諸先輩が取り組んでこられたこの制度を活用した事業推進の努力に敬服すると共に、今後もこの制度を改善しながら人口増・地域活性化のために事業を推進しますので、皆様方のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。(事務局)



新規建築住宅の一つ

ご来光の集い



PTA主催のご来光の集いが元旦の7時前から八王子神社で開催されました。宮司さんの「日が昇ってきます」の合図に子ども達と一緒に鏡山に向かい、ご来光が見えそうな場所を探して待機、元旦から山登り？です。晴天に恵まれ東の方がだんだんと明るくなり、令和になっての“初日の出”にうっとり、令和2年が始まりました。健康で幸せな一年でありますようにと合掌をして心を新たにしました。境内に戻りPTA役員さんの手作りの雑煮をいただきました。朝早くからの準備作業ありがとうございました。ご馳走さまでした、美味しかったです。

(参加者)

加西風土記の里ウォークに参加

冬の嵐が通り去った1月9日(木)、加西市観光まちづくり協会主催の加西風土記の里ウォークに参加しました。今回のテーマは宇仁の里花畑街道散策で、八王子神社をスタートして奥山寺の手前を通過して田谷町の大歳神社へ、そしてアオノゴルフコースのネットをくぐりぬけて青野町の八坂神社に立ち寄り、八坂神社からのNice View?を満喫して八王子神社へ戻るコース設定で行われました。

当日は暖かい絶好のウォーキング日和となり、ほぼ全員がリュックサックを背に、普段から歩きなれていると思われる方ばかり約40人の参加で、歩くスピードも速く、観光よりもウォークを楽しんでいるようでした。ちなみに宇仁地区からは2人の参加でした。グラウンドゴルフを終えて急ぎよの参加でしたので何の用意もせず、他の参加者から見ると異様に思えたかも知れません。

開催関係者の話によると、大歳神社から小印南町を通過して青野町へ向かうコース設定でしたが、1月6日の下見の時にイノシシを見かけたのでアオノゴルフコースのネット下を往復するコースに変更したとのことでした。機会があれば他のウォークにも参加したいと思いました。(参加者)



神社境内で宮司の説明に聞き入る参加者

朝市青野店初売り&社協まつり

1月12日(日)、宇仁の朝市は青野店で初売りでした。前日のぼかぼ店でもそうでしたが、正月明けということもあってお客さんも少なく、のんびりとした開催となりました。当日は、今年も稲木秀子さんによるぜんざいが振る舞われ、スタッフはもちろんお客さんも温かいごちそうに舌鼓をうちました。

朝市は新鮮な野菜を他店の安売りデー以下の価格で販売しています。お茶やお菓子・焼き芋などのサービスもあり、いきいきサロンの雰囲気で開催していますので、皆様お気軽にお立ち寄りください。



また、1月18日(土)に健康福祉会館で開催された「～社協まつり～未来につなぐ加西のきずな」に出店しました。富田まちづくり協議会(味噌・大豆の販売とみそ汁の無料試飲)、富合地区ふるさと創造会議もこのイレブン(甘酒・うどん入り豚汁の販売と甘酒の無料試飲)なども隣接してテナントを構えており、互いに大勢の来場者に喜んでもらえました。ただ、宇仁郷からの来場者をあまり見かけなかったのが少し残念に思いました。(朝市部会)



ふれあい喫茶より



明けましておめでとうございます。11日の喫茶での出来事です。スポーツクラブ21宇仁のグラウンドゴルフの方が練習後いつも立ち寄って下さるのですが、今回はお目にかかったことのないお二人を伴われてご来店になりました。あれっ!と思って伺うと笠原町の方で、グラウンドゴルフ場で一緒に楽しくプレーされ、帰り際にお茶のお誘いを快く受けて同伴されたとのこと。これぞまさしくふれあい交流、一つの和が生まれました。嬉しい出会いでした。

(ふれあい交流広場部会)

宇仁郷歴史資料館だより ④-23 近・現在の宇仁郷

(26) 八王子神社創建 970 年記念事業

平成16年(2004)の台風18号により本殿背面の石垣が崩落し、東西末社の屋根が損傷するなど境内は甚大な被害を受けました。一方明治44年(1912)に建立された玉垣655柱も100年を経過し損傷が著しく、この機会に境内を全面改修する機運の高まりを受け、平成17年12月8日に神社総代会・宇仁郷区長会・芳田郷区長会による発起人会を開催し、玉垣等改修事業委員会(会長丸岡肇、副会長寺北健樹・稲木善英、会計友藤正己・小林義敏、庶務山本宮司)を立ち上げ、浄財寄付と事業化に向けて委員50人のプロジェクトがスタートしました。

宇仁郷・芳田郷の氏子並びに明治の玉垣奉納者の地縁者の賛同を得て57,121,064円の寄付をいただき、第一次事業として神社背面の石積、神社正面路肩の安定化工事と玉垣875柱の建立、鏡山信仰碑の奉納、東西末社の屋根の葺き替え、篤志家の寄付による東西参道と鏡山入口に鳥居の建立、銘木の植樹、企業寄付による第二次事業は本殿～随神門～表参道鳥居までの参道整備と燈籠46基の建立、県費で鏡山周回遊歩道の整備を行うなど、積年の課題としていた神社整備事業は工事委員長玉井教夫・岡本一成さんのご尽力により平成19年1月に完成を見ました。一次事業の余剰金4,196,075円は国債を購入し玉垣等の災害対策基金として神社に留保、二次事業の余剰金87,482円は燈籠まつり賛助会計に戻しました。

平成19年(2007)11月9日中川加西市長に関係者10人が宇仁小の移転改築と表参道の返還を求め早期の実現を陳情しました。事業の完成後、玉垣等改修事業委員会を賑わいの復興委員会に改組し、芳田郷と宇仁郷が一緒になって八王子神社と村社の賑わいの復活を目指す10年計画を平成19年12月に策定し後世に委ねました。



鏡山信仰碑



参道と燈籠

開館日 毎日曜日9時30分～12時